

第10回 2025年デフリンピック大会に係る大会準備連携会議 議事次第

日時：2024年12月23日
(書面開催)

- 1 東京2025デフリンピック「大会規模(計画額)」の収入について
- 2 東京2025デフリンピック 開閉会式について

1 東京2025デフリンピック 「大会規模（計画額）」の収入について

- 令和7年度の大会開催に向け、昨年12月26日に公表した「大会規模（計画額）」の収入内訳を整理

項目	金額
東京都	100億円
国	20億円
寄附・協賛、各種助成金等	10億円
計	130億円

- 都費については、大会において東京の発展や都民の参画のための取組を行うことを前提に、今後、東京都の予算編成過程の中で調整
- 国に対してはスポーツ振興くじ助成金（toto助成金）について、東京2020大会と同レベルの支援を要望。併せて、大会への全面的な支援を求める
- 本大会が共生社会づくりを進める重要な契機となることから、社会全体で支える大会を実現するため、幅広く寄附・協賛等を募っていく

2 東京2025デフリンピック 開閉会式について

場所・日時

【会 場】東京体育館

【日 時】開会式：令和7(2025)年11月15日(土) 16時30分～19時(予定)

閉会式：令和7(2025)年11月26日(水) 16時30分～18時(予定)

内容・演出

- 開閉会式は、国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）によって定められた式典構成とする
- 式典では、選手団の入場、開会宣言、選手宣誓、開催国の文化等を表現する「アーティスティックプログラム」などの実施を検討
- 式典は、きこえない・きこえにくい人、きこえる人など、誰しものが共感できるようなものを目指し、以下の演出家を起用

【演出家】



大橋 弘枝

俳優、演出家、
プロデューサー

- ・きこえない人
- ・俳優座劇場プロデュース「小さき神の作りし子ら」で日本初となるろうの主役・サラを演じて第七回読売演劇大賞優秀女優賞を受賞。渡米して演劇やダンスを勉強。
- ・帰国後、公演プロデュース兼劇団「サイン アートプロジェクト.アジアン」を創立。
- ・きこえない人ときこえる人と共に、ミュージカルから始まり、ストレートプレイ、朗読など幅広く手話言語を通して演劇活動を行った。
- ・日本だけではなく、イギリスやバン格拉デシュにおいて舞台作りに関わる。
- ・著書に「もう声なんかいらなかった」とある。



近藤 良平

彩の国さいたま芸術劇場
芸術監督

- ・きこえる人
- ・1996年にダンスカンパニー「コンドルズ」を旗揚げ、全作品の構成・映像・振付を担当。世界約30か国で公演を行い、NYタイムズ紙で高く評価される。
- ・NHK教育『からだであそぼ』ほか、親しみやすい人柄とダンスで幅広い層の支持を集める。
- ・野田秀樹作・演出による演劇作品や映画、テレビCMなど、多方面で表現者として活躍
- ・スポーツ祭東京2013の演出・振付を担当
- ・障害のある人によるダンスチーム「ハンドルズ」公演など、多様なアプローチでダンスを通じた社会貢献にも取り組んでいる。